

VOXY

より広く、より低燃費に 生まれ変わったヴォクシー

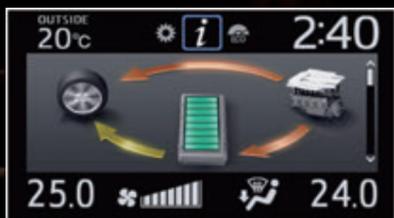
日本を代表するミニバンとして多くのファミリーに愛されてきたヴォクシー。5ナンバー・サイズならではの扱いやすさ、広い室内と豊富なシートアレンジ、街中でも高速道路でも不満のない2Lエンジンなど、その充実ぶりは目を見張るものがあった。そして3代目となった新型ヴォクシーはさらに全体をブラッシュアップ。スタイリングはよりカッコよく磨き上げられ、低床フラットフロアにより室内の余裕度も一段と向上。クラス初投入となった本格ハイブリッド車が23.8km/Lの燃費を実現したのに加え2Lガソリン車も16.0km/Lとクラストップを更新(ともにJC08モード値)。「こういうミニバンを待っていたんだ」という声に応え、ランクアップを果たした新型ヴォクシーの魅力に迫ってみよう。



ヴォクシーならではの独自のアイデンティティ



広さと安定感を表現したリアスタイル



エネルギーモニター(ハイブリッド車)



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区海岸2丁目1番25号
電話 東京 (03)3455-5321 大代表

トヨタ

新型
VOXY

特集号



クラス初のハイブリッド搭載
低燃費 JC08 モード
23.8 km/L



安全性

大切な家族を乗せるクルマだけに、安全性に関しても抜かりはない。不意の横滑りを防いでくれるS-VSCなどに加え、シフト操作の誤りによる急発進を抑制するドライブスタートコントロールを装備。急ブレーキ時にハザードランプが自動点滅する緊急ブレーキシステムも備え、未然に事故を防ぐシステムが整えられている。万一の事故時も7つのエアバッグが前後席の乗員を守り、全方位コンパティビリティ構造のボディは衝撃をしっかりと吸収して室内空間を確保する。全席シートに3点式シートベルトとヘッドレストが備えられ、セカンドシート左右席にはチャイルドシートを確実に装着できるISOFIX パーとトップテザーアンカーを装備。すべての乗員の安全性がしっかりと確保されている。



ドライブスタートコントロール作動イメージ図



SRSエアバッグ

車いす仕様車

バリアフリー車両として多くの人に移動の楽しみを提供すべく、車いす仕様車やウェルライドも新たにラインナップ。大きく変わったバックドア開口部を活用したスロープタイプの車いす仕様車は、前倒し式のスロープを備えることでサードシートの使用も可能となり、常にミニバンとしての機能をフル活用することができる。低床パッケージにより車いす乗車時の余裕度が高まった点も見逃さない。さらに助手席リフトアップシート車、サイドリフトアップシート車も用意され、ハンディキャップを持つ方が自身で運転できるウェルライド車(フレンドマッチック取付専用車)には車いすの電動格納機構も装備。気兼ねなく移動できるように配慮されている。



スロープ前倒し機構(前倒し時)



助手席リフトアップシート車



車いす仕様車(タイプ)「車いす1脚仕様」

トヨタ VOXY 主要諸元表	ハイブリッド車(2WD)		ガソリン車(2WD/4WD)							
	V	X	ZS	V		X		"C Package"		
乗車定員(名)	7	7	8	7	8	7	8	7	8	
ナンバー	5ナンバー		3ナンバー		5ナンバー					
燃料消費率JC08モード国土交通省審査値(km/L)	23.8		16.0[14.8]		16.0[15.0]		14.6[14.0]			
全長×全幅×全高(mm)	4,695×1,695×1,825		4,710×1,730×1,825[1,870]		4,695×1,695×1,825[1,865]					
ホイールベース(mm)			2,850							
トレッド前/後(mm)	1,480/1,480		1,500/1,480		1,480/1,475[1,480]					
最低地上高(mm)	160		160[155]							
車両重量(kg)	1,620	1,610	1,600[1,680]	1,570[1,660]	1,570[1,650]	1,560[1,640]				
室内長×室内幅×室内高(mm)	2,930×1,540×1,400		2,930×1,540×1,400*		2,930×1,540×1,400					
エンジン	型式	2ZR-FXE		3ZR-FAE						
	種類	直列4気筒DOHC		直列4気筒DOHC						
総排気量(L)	1,797		1,986							
使用燃料・燃料タンク容量(L)	無鉛レギュラーガソリン・55		無鉛レギュラーガソリン・55							
最高出力(ネット)kW(PS)/rpm	73(99)/5,200		112(152)/6,100							
最大トルク(ネット)N·m(kgf·m)/rpm	142(14.5)/4,000		193(19.7)/3,800							
モーター	型式/種類	5JM/交流同期電動機		-						
	最高出力kW(PS)	60(82)		-						
	最大トルクN·m(kgf·m)	207(21.1)		-						
動力用主電池 種類/個数/接続方式/容量(Ah)	ニッケル水素電池/28/直列/6.5		-							
トランスミッション	電気式無段変速機		Super CVT-i(自動無段変速機/7速スポーツシフトメカニカルシフトマチック付)							
最小回転半径(m)	5.5		5.5							
タイヤサイズ	195/65R15		205/60R16		195/65R15					
ステアリング	ラック&ピニオン式		ラック&ピニオン式							
ブレーキ	フロント	ベンチレーテッドディスク		ベンチレーテッドディスク						
	リヤ	ディスク		リーディングトレーリング式ドラム[ディスク]						
サスペンション	フロント	マクファーソン・ストラット式コイルスプリング(スタビライザー付)		マクファーソン・ストラット式コイルスプリング(スタビライザー付)						
	リヤ	トーションビーム式コイルスプリング(スタビライザー付)		トーションビーム式コイルスプリング(スタビライザー付)						

[]内は4WDです。キックインムーンルーフを装着した場合、室内高は1,365mmとなります。
燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エコノミー使用等)に応じて燃料消費率は異なります。メーカーオプションを組み合わせた場合、車両重量、燃料消費率は異なります。詳しくはお近くの販売会社にお問い合わせください。



VOXY



ミニバンの室内空間と、カッコ良さをあわせ持つ

エクステリア

ハコ型スタイルを巧みに生かしてスタイリッシュに変身した新型ヴォクシー。フロントエンブレムを際立たせたグリルがよりクールなルックスを演出し、厚みのあるフロントバンパーは左右にサイドポンツーンと呼ばれる部分を加えて押し出し感を強調。毒気さえ感じさせる鋭いヘッドランプが全体を引き締め、ファミリー指向のミニバンながらカッコよさをあわせ持つ。大きなガラスエリアが印象的なサイドビューは後方に向かってせり上がるベルトラインが躍動感を醸し出し、室内スペース重視のミニバンながら速さをも感じさせる。そしてハコ型を強調したリアビューはミニバンならではの安定感とボリュームに加え、スクエアな造形がかえって新鮮。専用バンパーやスポイラーを備えるエアログレードも魅力的だ。



「毒気」も強調したエアロボディ

インテリア

5ナンバー枠ギリギリの大きさまで拡大されたボディながら、運転席回りのレイアウトを吟味して運転のしやすさは従来と変わらない。インストルメントパネルの横幅を50mm拡大しながら、メーターフードを低く抑えて広々とした視界を確保。さらに三角窓の大型化、フロントビラーのスリム化により、死角を減らして安全性にも貢献している。インテリアデザインはセンスよく興味をそそるコンセプトのもと、インテリアカラーやシートのファブリック素材にもこだわって高い質感で仕上げられている。モダンリビングのような室内空間や居住性は上級ミニバンにも劣らないレベルだ。メーターは視認性が高く先進性を感じさせるオプティロンメーターを採用し、プレミアム感さえ漂う雰囲気だ。



クラストップレベルの視界のよさも



素材や色使い、触感などを融合し、モダンリビング空間を実現

シートアレンジ

7人乗り仕様と8人乗り仕様が用意され、ともに多彩なシートアレンジによりさまざまな使い方に対応している。7人乗りはセカンドシートにクラス初のキャプテンシートが奢られ、810mmというロングスライド量と合わせてゆったりとした居住空間を得ている。さらに横スライド機構によりサードシートへのアクセスも容易だ。8人乗りのセカンドシートはチップアップが可能で、580mmのスライド量を生かして広い足元空間あるいは大容量のラゲッジスペースを得ることができる。



ビッグラゲッジモード(8seater)



リヤフラットソファモード(7seater)



力強さの中にもクールな印象を演出



ENGINEER'S VOICE 水瀬 英紀さん
ヴォクシー開発者 トヨタ自動車 製品開発本部チーフエンジニア

ミニバンの価値は、広い室内空間、乗降性のよいスライドドア、使用方法に合わせたシートアレンジなど。これにクルマの魅力である燃費や走りが付加されます。新開発の低床フラットフロアによって、室内の広さや乗降性が大幅に向上しました。シートアレンジのための操作レバーの形状も見直し、初めての方でも操作しやすいものに改良。運転する時の視界のよさ、バックドアの開き方にもこだわりました。「こんなミニバンを待っていた」といわれるようなクルマに仕上がったと自負しています。夢と笑顔に満ちたスペースミニバンライフを楽しんでほしい。

環境性能

新たにラインナップされたハイブリッド車は、1.8L アトキンソンサイクルエンジンと電動モーターを組み合わせ、JC08モード23.8km/Lというクラストップの好燃費に加え、パワーモードを活用すれば力強い走行も可能。モーターのみによるEV走行から、多人数乗車での高速移動までスマートにこなすことができる。一方の新型2Lガソリンエンジンはバルブマチック機構を進化させるとともに新型CVTと組み合わせ、クラストップのJC08モード16.0km/L(2WD車)を達成。アイドリングストップ時もエアコンの冷風を維持する蓄冷エバポレーターを備え、優れた環境性能を与えられると同時に、快適かつ、おサイフにも優しいミニバンとなっている。



エンジンルーム(左がハイブリッド車)

快適な走りの追及

ボディやサスペンション、空力性能などを見直し、走行性能を一段と向上させている点も見逃せない。ボディは約180点のスポット溶接の打ち増しや、超高張力鋼板の採用で剛性を高めて操縦安定性と静粛性を向上。サスペンションはフロントを最適チューニングし、リアは低床パッケージに合わせて新設計。コーナリング時のロールやムダな動きを抑えることで、フラットな乗り心地と操縦安定性を両立させている。さらにスポーティカーなどに装着されるエアロスタビライジングフィンや整流フィンの採用で空力性能も向上。高速走行時での安定性を向上させるとともに、燃費向上にも貢献している。

インフォメーションディスプレイ他

さまざまな情報を見やすく、分かりやすく表示するマルチインフォメーションディスプレイをインストルメントパネル中央に配置。4.2インチのTFT画面には燃費情報、オーディオやエアコンの状況などに加え、ハイブリッド車ではエネルギーモニターも表示可能。また、8インチ画面のSDナビゲーションを装着すれば、駐車をサポートしてくれるインテリジェントパーキングアシストも活用できる。両側スライドドアはワンタッチスイッチ式のパワースライド機構を備えるなど利便性も向上している。



エコドライブインジケータ(ガソリン車)



ワンタッチスイッチ付パワースライドドア

パッケージング他

従来型に比べて全長およびホイールベースを延長したことで室内の前後の余裕度が増している。さらに低床化により室内高は+60mmの1,400mmとなり、小さな子供なら立ったまま着替えたりすることも可能。大人も車内移動が楽になり、アウトドアなどでの使い勝手は格段に向上している。この低床化により乗り込み口も低くなって乗り降りが楽になり、さらにスライドドアの開閉幅を805mmまで広げたことで大きな荷物出し入れもスムーズ。また、リアラゲッジのフロア下端が60mm下げられたことで荷物の積み下ろしが楽になり、そのラゲッジルーム幅は200mmも拡大。人を乗せるときだけでなく、かさばる荷物を運ぶようなシチュエーションでも新型のメリットは大きい。



標準ボディ

エアロボディ



ワンタッチスペースアップシート。右はサードシートをねら上げて広いラゲッジスペースを確保